

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	08	124330	国際都市推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3 生涯学習の推進				
	施策	3 国際都市の推進				
目的	花巻市の国際都市化を推進する。					
対象	海外の人々、市民					
意図	海外の人々と市民の相互理解促進を図り、花巻市への来訪、定住を図る。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○国際都市推進員の活用等 3,898千円 ○公益財団法人花巻国際交流協会補助 2,917千円 公益財団法人花巻国際交流協会が行う国際理解推進事業等への補助 ・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座） ・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援） ・国際交流情報提供事業、国際交流団体活動支援事業 ・国際フェアINはなまき 等 ○国際交流センター運営業務委託 10,163千円 ○団体への負担金 90千円 岩手県日塊協会会費 JICAボランティアを支援するいわての会						
市民参画の有無 【 無 】						
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催 <input type="radio"/> 後援・協賛		<input type="radio"/> 実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> 事業協力・協定 <input type="radio"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	情報発信回数	回	計画	50	50	
			実績	51	48	
②	小・中学校等での会話指導	回	計画	10	10	
			実績	24	18	
③	公共施設等の多言語表示等	回	計画	5	5	
			実績	1	2	
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	交流会・講座等参加者数	人	目標	1,400	1,400	
			実績	2,011	1,796	
②	訪日外国人観光客入込客数（暦年）	人	目標	37,000	44,000	
			実績	45,956	49,886	
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	<input type="radio"/> 目標値より高い		<input type="radio"/> 概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） ・交流・講座等の参加者数については、主に国際フェアの入場者数が他のイベントとの開催日程と重なったため減少したと思われる。内容やPRの工夫によりさらに参加者増加を図る。 ・フェイスブックでの情報発信を、英語・中国語・韓国語で実施し、多言語での情報発信に努めている。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない ・市として、海外へ情報発信することや、国際交流団体への支援は、国際都市化を推進するうえで妥当な事業である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない ・国際交流協会が実施している各種講座等は、講座内容の見直しや工夫の余地がある。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない ・国際都市推進員は、非常勤職員として雇用しており削減の余地がない。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である ・国際都市推進員の活用により海外への情報発信が推進され、花巻市への来訪者の増加が期待できることから、市民の受益と負担は公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括 ・国際都市推進員により、外国人の目線で見えた「花巻」を情報発信し、外国人に受け入れられやすい情報を発信することができる。 ・海外の情報をいち早く取り入れ、また、花巻の情報を的確に発信していくために国際都市推進員の活用は欠かせない。 ・市民は、海外の文化や言語についての知識を国際都市推進員によって得られ、国際理解を深めることができる。 ・国際理解講座などの公益財団法人花巻国際交流協会事業を支援することにより、市の国際都市化を推進することができた。 ・国際交流センターの運営を公益財団法人花巻国際交流協会へ委託し、より効果的に運営することができた。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	124330	国際都市推進事業

単位：千円				
	29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	17,024	17,068		44
財 源 内 訳	国・県			
	地方債			
	その他	71	70	△ 1
	一般財源	16,953	16,998	45

※特定財源の内訳

国際交流基金利子	69
----------	----

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標 生涯学習の推進に努めます。			
事業開始の背景・経緯 外国人の定住促進、交流人口の増加を図るため、様々な環境整備と海外への情報発信を行い、花巻市の国際化を推進しようとするもの。			
事業概要 ○国際都市推進員の活用等 3,898千円 ○公益財団法人花巻国際交流協会補助 2,917千円 公益財団法人花巻国際交流協会が行う国際理解推進事業等への補助 ・国際理解推進事業（多文化サロン、市民語学講座） ・定住外国人支援事業（コミュニケーション支援、生活支援） ・国際交流情報提供事業、国際交流団体活動支援事業 ・国際フェアINはなまき 等 ○国際交流センター運営業務委託 10,163千円 ○団体への負担金 90千円 岩手県日唄協会会費 JICAボランティアを支援するいわての会			
意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当係長 牛崎 充人 内線 407 (単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

1	国際都市推進員の活用等	3,898千円		
	(1)報酬	2,791	国際都市推進員1名	
	(2)共済費	413	同上	
	(3)報償費	66	海外への来客への土産	
	(4)旅費	31	国際化セミナー（東京）	
	(5)需用費	80	消耗品費	
	(6)役務費	517	筆耕翻訳料（Facebook掲載記事の翻訳 中・韓）	
<pre> graph TD     A[国際都市推進員] --&gt; B[生活ガイドブック作成 各種パンフレット翻訳 情報発信]     B --&gt; C[定住外国人]     B --&gt; D[海外旅行者]     B --&gt; E[海外の人々]             </pre>				
2	国際交流センター運営委託	10,163千円		
	委託先：公益財団法人花巻国際交流協会			
	場 所：花巻市交流会館			
	人件費4人分 9,445千円、事務費 718千円（車両借上、通信運搬費等）			
3	花巻国際交流協会事業補助金	2,917千円		
	(1)国際理解推進事業	229	多文化サロン、市民語学講座など	
	(2)定住外国人支援事業	175	日本語講座、日本文化体験講座、生活講座など	
	(3)国際交流情報提供事業	515	情報誌発送、姉妹都市等との通信など	
	(4)国際交流団体活動支援事業	597	団体育成費（50×6団体）姉妹都市交流事業（100×5件）	
	(5)国際フェアINはなまき	1,173	12月上旬開催 海外派遣研修・レゼン、コンサート、世界の料理コーナー等	
	(6)管理事務費	437		
	計	3,126	—その他収入135（講座受講料31、賛助会員会費103、利子1）—対象外経費74（租税公課等74）	
4	国際交流団体等への負担金	90千円（前年比 ±0）		2,917千円
	・岩手県日唄協会会費	80千円		
	・JICAボランティアを支援するいわての会負担金	10千円		

## 平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	08	124340	<b>国際姉妹都市等交流推進事業【総括表】</b>	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3 生涯学習の推進				
	施策	3 国際都市の推進				
目的	国際交流人口の拡大					
対象	花巻市民（中学2年生）、国際姉妹都市等の中高校生・市民・教員					
意図	国際姉妹友好都市等への派遣及び受入事業を通じて、異文化を学ぶとともに国際感覚の醸成を図る。					
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
<p>○公益財団法人花巻国際交流協会補助 6,989千円                  公益財団法人花巻国際交流協会が行う交流研修事業への補助                  ・青少年海外派遣研修事業（市内中学2年生を、ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ6名ずつ派遣。）                  ・海外青少年受入交流事業（ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村からの青少年をホームステイで受け入れ。）                  ・市民等交流事業（国際姉妹友好都市からの市民等を受け入れ。）                  ・海外来訪者受入事業（国際姉妹友好都市以外からの来訪者を受け入れ。）                  ○国際姉妹都市提携25周年記念事業訪問旅費 2,915千円                  ○国際姉妹都市提携25周年記念事業開催実行委員会負担金 2,900千円                  ・ホットスプリングス市との姉妹都市提携25周年記念事業の開催                  ○大迫高校生ベルンドルフ市派遣 564千円</p>						
市民参画の有無 【 無 】						
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催 <input type="radio"/> 後援・協賛		実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成 事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 交流都市	箇所	計画		6	6	
		実績		6	6	
②		計画				
		実績				
③		計画				
		実績				
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 姉妹都市等への派遣人員	人	目標		50	50	
		実績		31	57	
② 姉妹都市等からの受入人数	人	目標		50	50	
		実績		50	70	
③		目標				
		実績				
成果指標の達成度	<input type="radio"/> 目標値より高い		<input type="radio"/> 概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） ・受入については、平成30年度ホットスプリングス市との姉妹都市提携25周年記念事業による市民訪問団の受け入れやクリントン村から2年ぶりの来花により、受入人数が増加となった。 ・派遣についても、平成30年度はホットスプリングス市との姉妹都市提携25周年記念事業による市民訪問団がホットスプリングス市へ訪問したことにより派遣人員が増加した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	・民間が主体になって実施している事業に対して、市が補助を行うことにより、派遣参加者の負担軽減が図られることから公共関与は妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	・市や国際交流協会のHP、広報等様々な手段により事業の周知を図り、また、内容の充実を図って市民の関心を深めていくことが必要である。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	・派遣事業では複数業者からの見積り合わせや経費の積算方法を見直しながら、費用の縮減を図る。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	・派遣生徒は市内中学2年生全員を対象としており、受益機会は適正である。
総合評価 …上記評価結果の総括 ・海外青少年派遣研修事業については、報告会を市内全中学校での開催に変更するなど開催方法を改めることにより、より多くの中学生の関心を高めることにつながった。今後も各中学校と協議しながら、事業参加へのモチベーションアップを期待する。 ・海外青少年・市民等受け入れ事業については、市民との交流を行う受入プログラムを増やすなど、国際交流に関わる市民の増加を期待している。 ・平成30年度のホットスプリングス市との姉妹都市提携25周年事業による市民訪問団の派遣やホットスプリングス訪問団の受け入れなど、ホットスプリングス市との交流を深めることができた。		

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	124340	国際姉妹都市等交流推進事業【総括表】

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		6,875	13,368		6,493
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他	2,315	5,329		3,014
	一般財源	4,560	8,039		3,479

※特定財源の内訳

国際交流基金	2,532千円	(中学生派遣旅費5,064千円 1/2相当)
〃	2,797千円	記念品等(788千円)、記念誌(484千円)、職員旅費等2,823千円+芸術家交流旅費228千円1/2相当(1,525千円)

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
部重点施策における目標			
生涯学習の推進に努めます。			
事業開始の背景・経緯			
異文化の相互理解を深め、国際感覚の醸成を図ることを目的に実施している事業である。			
事業概要			
○公益財団法人花巻国際交流協会補助 6,989千円 公益財団法人花巻国際交流協会が行う交流研修事業への補助 ・青少年海外派遣研修事業(市内中学2年生を、ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村へ6名ずつ派遣。) ・海外青少年受入交流事業(ホットスプリングス市、ベルンドルフ市、ラットランド市、クリントン村からの青少年をホームステイで受け入れ。) ・市民等交流事業(国際姉妹友好都市からの市民等を受け入れ。) ・海外来訪者受入事業(国際姉妹友好都市以外からの来訪者を受け入れ。)			
○国際姉妹都市提携25周年記念事業訪問旅費 2,915千円			
○国際姉妹都市提携25周年記念事業開催実行委員会負担金 2,900千円 ・ホットスプリングス市との姉妹都市提携25周年記念事業の開催			
○大迫高校生ベルンドルフ市派遣 564千円			
意見・要望等の状況(市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等)			

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当係長 牛崎 充人 内線 407

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

◎花巻市の国際姉妹都市等

アメリカ	アメリカ	オーストリア	中国	アメリカ	イギリス
ホットスプリングス市	ラットランド市	ベルンドルフ市	大連市西岗区	クリントン村	シェットランド諸島
姉妹都市提携			友好都市提携	国際友好関係都市	
1993年1月15日	1986年1月16日	1965年10月12日	2008年1月23日	1979年	1990年
平成5年	昭和61年	昭和40年	平成20年	昭和54年	平成元年
旧花巻市	旧石鳥谷町	旧大迫町	花巻市	旧東和町	旧東和町

- (公財)花巻国際交流協会の姉妹都市等交流事業への補助金 6,989千円
  - 青少年海外派遣研修 5,382千円
    - ホットスプリングス市派遣 1,333千円
    - ベルンドルフ市派遣 1,262千円
    - ラットランド市派遣 1,544千円
    - クリントン村派遣 1,243千円 各地 引率1名、生徒6人(旅費費用の2/3)
  - 海外青少年・市民等の受入 1,607千円
    - 青少年受入交流事業 1,673千円 各姉妹・友好都市等中高生
    - 市民等交流事業 376千円 ホットスプリングス市教員他
    - その他 280千円 ホストタウン事業他
- 【新規】国際姉妹都市提携25周年記念事業 5,815千円
  - 9節 旅費 ホットスプリングス市訪問旅費等 2,915千円 市長、議長、教育長他
  - 19節 国際姉妹都市提携25周年記念事業実行委員会負担金 2,900千円
    - 謝礼 芸術家交流受入れ時ホストファミリー謝礼 333千円
    - 記念品 ホットスプリングス市への記念品(クリスマスカード)、照明器具一式 788千円
    - 旅費 費用弁償：1名(本市芸術家ホットスプリングス市訪問旅費) 229千円
    - 消耗品 歓迎会場装飾花 95千円
    - 印刷製本費 25周年記念誌(200部) 485千円
    - 食糧費 歓迎会(40人) 511千円
    - 役務費 記念品送料 180千円
    - 委託料 花巻まつり展示ブース設営等委託料 226千円
    - 入館料 芸術家交流受入時入館料 53千円
    - 公課費 記念品付加価値税(6.5%) 0千円

周年事業の予定

	ホットスプリングス市	ラットランド市	ベルンドルフ市	大連市
H29				
H30	25周年			10周年
H31				
H32			55周年	
H33		35周年		

## 平成 30 年度事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	08	124340	国際姉妹都市等交流推進事業【総括表】

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること

【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- 3 大迫高校生ベルンドルフ市派遣 (市事業) 564千円  
 ○花巻市事業として 大迫高校生ベルンドルフ市派遣  
 ○花巻国際交流協会事業 (市補助) として 市内の中学生ベルンドルフ派遣

市費 (費用弁償) 2/3
自己負担 1/3

生徒2名、引率教諭1名  
引率教諭は全額市負担

国際交流協会 2/3 (市全額補助事業)
自己負担 1/3

生徒6名、引率教諭1名  
引率教諭は全額市負担

費用弁償 564 千円

旅費 237,230円 × 2/3 × 生徒2名 = 316,307円

旅費 247,350円 × 引率教諭1名 = 247,350円

※旅費単価は見積額

中学生派遣時に同行することで経費を節減 (団体旅行として同額手配)

- 平成30年度の事業内容および事業費

[事業内容]

平成26～29年度と同様に、国際交流協会生徒派遣事業に同行。

[事業費]

平成30年度 564千円

平成29年度 614千円

平成28年度 525千円

平成27年度 539千円

平成26年度 476千円

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	17	124650	国内友好都市交流推進事業費	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-3 生涯学習の推進				
	施策	3 国際都市の推進				
目的	友好都市（神奈川県平塚市・青森県十和田市）との都市交流を推進する。					
対象	花巻市民・友好都市市民					
意図	友好都市間の交流を促進する。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○友好都市との交流 ・友好都市少年少女マリン交流の実施等 53千円 ・花巻市友好都市交流委員会補助 1,387千円 花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。 少年少女交流キャンプ、市民ツアー、神輿団体との交流など						
市民参画の有無 【 無 】						
市民協働の形態		<input type="radio"/> 共催 <input type="radio"/> 後援・協賛		<input type="radio"/> 実行委員会・協議会 <input type="radio"/> 補助・助成		
				<input type="radio"/> 事業協力・協定 <input type="radio"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 友好都市交流事業実施回数	回		計画	20	20	
			実績	30	29	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 友好都市交流事業参加数	人		目標	430	440	
			実績	349	359	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 （新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載） ・友好都市との交流事業や市民団体等の参加者数は、平成29年度に比べ若干増加したが、目標に届かなかった。今後、事業のPR等に努め、参加人数の増加を図る。				
目的妥当性	公共関与の妥当性	<input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない	・市が取り交わした友好都市提携盟約書に基づいて進めている事業であり、公共関与は妥当である。	
	有効性	成果の向上余地	<input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない	・事業の内容の見直しや、交流を呼びかける周知方法を充実させるなどの余地がある。
		効率性	事業費・人件費の削減余地	<input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地		<input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	・交流事業の参加者は、小学生・市民とも市内全域から募集をしており、受益機会は均等である。
	総合評価 …上記評価結果の総括 前年度に引き続き多くの市民の交流が行われるように、花巻市友好都市団体交流助成の利用や友好都市の情報を発信するなど啓発に努め、市民の各層、様々な団体が友好都市との交流を進めることにより、友好都市の文化を学び、自分たちの文化を再認識することができた。			

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	17	124650	国内友好都市交流推進事業費

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		1,374	1,440		66
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	1,374	1,440		66

※特定財源の内訳

--

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標  
生涯学習の推進に努めます。

事業開始の背景・経緯

平塚市とは、「平塚休養の郷」の締結を経て、昭和59年に友好都市提携を結んだ。  
十和田市とは、新渡戸稲造氏の先祖が花巻から十和田へと移り住み灌漑事業を成功させたことによる縁で平成元年に友好都市提携を結んだ。

事業概要

- 友好都市との交流
  - ・友好都市青少年マリン交流の実施等 53千円
  - ・花巻市友好都市交流委員会補助 1,387千円
- 花巻市友好都市交流委員会が実施する事業に対し補助金を交付する。  
青少年交流キャンプ、市民ツアー、神輿団体との交流など

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 国際交流室 担当係長 牛崎 充人 内線 407

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



- 友好都市からの来客への土産 11千円
- 友好都市青少年マリン交流にかかる随員職員旅費 42千円  
平塚市が、3つの友好都市との間で隔年で開催している小学生を対象とした平塚市ならではの海を活動場所とした交流事業。夏休みを利用して、平塚市と平塚市の姉妹都市併せて4つの市の児童が平塚市に集い、平塚市が用意したプログラムにより交流活動を行うもの。  
※友好都市親子ひらつか体験隊にかかる随員職員旅費 (H29:62千円) と交互 (隔年) 開催
- 花巻市友好都市交流委員会が実施する事業への補助 1,387千円
  - (1) 交流活動の促進 (芸術・文化、スポーツ、祭り、イベント、観光・物産)
  - (2) 青少年交流事業の実施  
友好都市青少年マリン交流への参加  
青少年交流キャンプの実施
  - (3) 友好都市の紹介・情報提供事業の実施
  - (4) 市民ツアーの実施 (平塚市・十和田市へ)